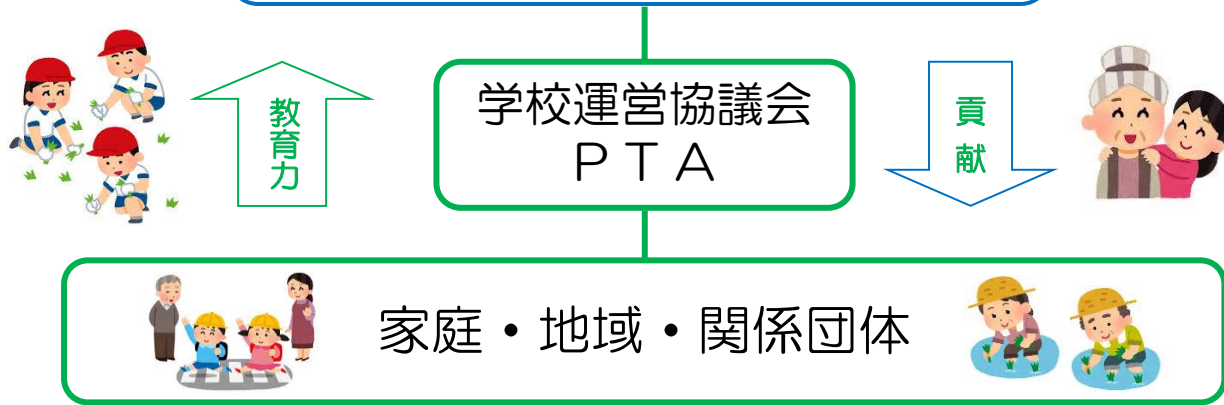
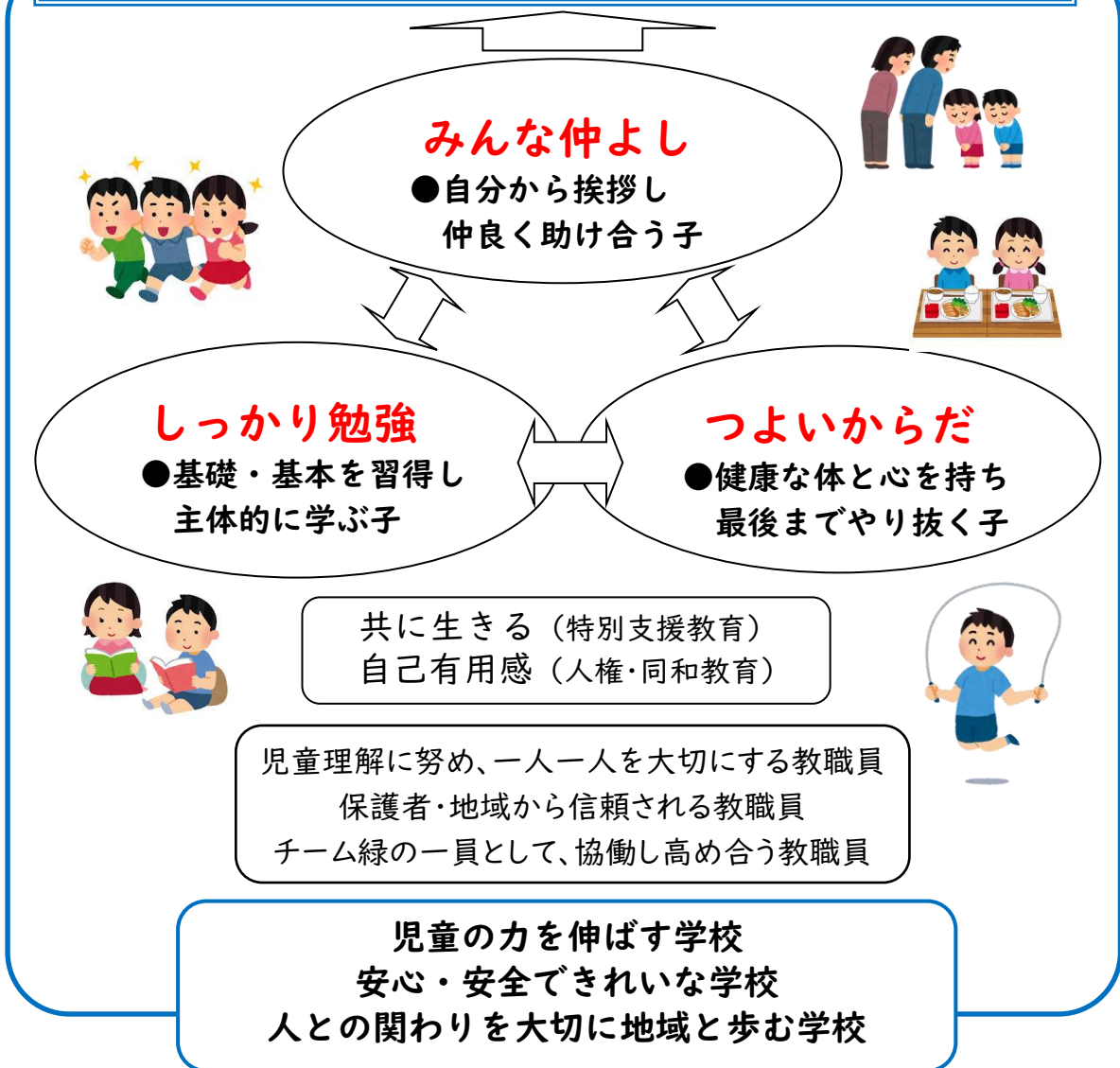


令和7年度 教育計画						学校番号 083	
愛南町立緑小学校							
校長名	岩崎 明子	学級数	3 ( 1 )	児童数	13	教職員数	5

学校の教育目標

自ら学び 心豊かでたくましい緑っ子を育てる



<p style="text-align: center;">重 点 目 標</p>	<p><b>1 確かな学力の定着と向上</b></p> <p>(1) 学習することの意味を指導するとともに、学ぶために必要な力（継続・集中・丁寧・自分で調べる）を育成し、主体的に取り組む態度を育てる。</p> <p>(2) ICTを積極的・効果的に活用し、一人ひとりに応じたきめ細かな指導に努め、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組む。</p> <p>(3) 読解力の育成に向け、全教科で言語活動の充実を図り、読書習慣の育成に努める。</p> <p><b>2 生徒指導の徹底と健全育成</b></p> <p>(1) 児童一人ひとりと向き合い、人間関係づくりを基盤とした生徒指導の充実を図る。</p> <p>(2) 「先取り挨拶」を推進し、家庭や地域と連携して、基本的な生活習慣の確立と最後までやり抜く児童の育成に取り組む。</p> <p><b>3 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化及び働き方改革の推進</b></p> <p>(1) 校内研修の充実を図るとともに、初任者研修の推進体制を整備し、教職員一人ひとりの専門的知識や資質・能力の向上を図る。</p> <p>(2) 業務改善とワークエンゲージメントについて共通理解を図り、教職員が楽しくやりがいを感じながら仕事に取り組み、自ら学ぶ意欲を高める。</p> <p><b>4 特色ある学校づくり</b></p> <p>地域の文化や伝統を継承し、人的・物的環境を活用したコミュニティ・スクールの取組を充実させ、児童の愛郷心を育てる。</p> <p><b>5 豊かな心を育てる教育の推進</b></p> <p>(1) 道徳科を要に教育活動全体を通じて道徳教育を推進し、自他の生命を大切にすることを心や規範意識を養う。</p> <p>(2) 豊かな自然や地域の教育力を生かした体験・交流活動を通して自尊感情を高める。</p> <p><b>6 人権・同和教育の充実</b></p> <p>全ての教育活動の中で、いじめや差別をなくす意欲や技能、態度を育てる。</p> <p><b>7 特別支援教育の推進</b></p> <p>(1) 共生社会の形成に向けて、交流や共同学習を積極的に実施する。</p> <p>(2) 特性や教育的ニーズに応じた指導・支援計画を作成し、全教職員で共通理解を図るとともに専門機関と連携・協働し、効果的な指導・支援に努める。</p> <p><b>8 健康教育の推進</b></p> <p>(1) 「えひめ子どもスポーツITスタジアム」を活用し、楽しく運動に取り組む機会を増やし、体力・運動能力の向上や運動習慣の確立を目指す。</p> <p>(2) 学校給食を通して、望ましい食習慣を身に付けさせる。</p> <p><b>9 安全・安心な学校づくりの推進</b></p> <p>児童の安全を第一に、安心して登下校・学校生活を送ることができるよう、家庭や地域と連携した防災・減災教育への取組を推進する。</p>
<p style="text-align: center;">管 理 運 営</p>	<p><b>1 人的管理</b></p> <p>(1) 長時間勤務の是正に向けて、ICTの活用や会議・計画案等の精選、地域人材を生かした学校支援体制を整え、働き方改革を推進する。</p> <p>(2) 風通しのよい職場づくりに努め、一人ひとりが活躍できる協働集団を目指す。</p> <p>(3) 服務規律を遵守し、教育公務員としての立場を自覚して、信用の保持に努める。</p> <p><b>2 物的管理</b></p> <p>(1) 施設・設備の安全点検を定期的実施し、学校安全の徹底を図る。</p> <p>(2) 豊かな心を育む、機能的で美しい環境づくりに努める。</p> <p><b>3 事務管理</b></p> <p>(1) 城辺共同学校事務室と連携・協働して、正確で迅速な事務処理に努める。</p> <p>(2) 校務分掌の明確化と適正化を図り、事務処理の効率化を目指す。</p> <p>(3) 情報セキュリティポリシーを遵守し、個人情報の適切な保管・管理に万全を期す。</p>
<p style="text-align: center;">本 校 教 育 の 特 色</p>	<p>豊かな自然や文化、地域からの手厚い支援という特徴・強みを最大限に生かしながら、児童の愛郷心や探求心を育むとともに、主体的に行動できる、たくましく生き抜く力を育成している。また、コミュニティ・スクールが定着し、家庭や地域と連携・協働した多様な活動が行われている。交流・体験活動や地域行事への積極的な参加など、地域を元気づけるだけでなく、児童の自己有用感の育成にもつながっている。</p>